

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 21 年 3 月 5 日 (2009.3.5)

【公表番号】特表 2008-529825 (P2008-529825A)

【公表日】平成 20 年 8 月 7 日 (2008.8.7)

【年通号数】公開・登録公報 2008-031

【出願番号】特願 2007-552176 (P2007-552176)

【国際特許分類】

B 2 9 C 59/02 (2006.01)

B 2 9 C 47/04 (2006.01)

B 2 9 C 47/08 (2006.01)

B 2 9 C 43/24 (2006.01)

B 2 9 C 43/46 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

B 2 9 K 301/12 (2006.01)

B 2 9 L 7/00 (2006.01)

B 2 9 L 9/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 59/02 B

B 2 9 C 47/04

B 2 9 C 47/08

B 2 9 C 43/24

B 2 9 C 43/46

G 0 1 N 37/00 1 0 1

B 2 9 K 301:12

B 2 9 L 7:00

B 2 9 L 9:00

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 1 月 9 日 (2009.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長手方向へ離間した複数の構造を両面に有する構造化ポリマーフィルムを製造する方法において、

複数のツール突出部を含む外周面を有する回転可能なツールを用意することと、

前記ツールの前記外周面に対向する平滑で順応可能な外周面を有するニップロールを用意することとあって、任意選択可能なこととしては該順応可能な外周面のショア A 硬度が 30 ~ 100 の範囲にあるニップロールを用意することと、

前記ツールと前記ニップロールとの間のニップに溶融したポリマーを導入することと、

前記ツールと前記ニップロールとの間で前記ポリマーをプレスして、前記ツールの前記外周面の前記ツール突出部により、構造化ポリマーウェブであって、該ポリマーウェブの第 1 面に複数のウェブ凹所を有するとともに該ポリマーウェブの反対側の第 2 面から延出する複数のウェブ突起を有する構造化ポリマーウェブを形成することと、

前記構造化ポリマーウェブを前記ツールから取り外すことと、

を具備することを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記ツール突出部が、前記構造化ポリマーウェブの厚さよりも大きな高さを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

試料処理物品において、

選択した光を透過するとともに本体下面を画定する光透過層と、該選択した光を遮蔽するとともに本体上面を画定する光制御層とを含む本体であって、該光制御層が該光透過層に取り付けられており、本体厚さを有する本体と、

前記本体の内部に配置された複数の試料処理チャンバであって、該試料処理チャンバの各々が前記本体上面に向かって延在するとともに前記本体下面から離れるように延在し、該試料処理チャンバの各々が前記本体厚さよりも大きな高さを有する複数の試料処理チャンバと、

を具備することを特徴とする試料処理物品。